

横川ダム 本体打設に着手

やまがたけんにしおきたまぐん おくにまち
山形県西置賜郡小国町

1. 事業の概要

1) 目的

洪水調節

(ダム地点の基本高水流量 $880\text{m}^3/\text{s}$ のうち、 $570\text{m}^3/\text{s}$ の洪水調節を行う。)

河川環境の保全のための流量確保

(ダム地点下流横川及び荒川沿川の既得取水の安定化等のための流量確保。)

工業用水の供給

(小国町に対し、最大 $7,000\text{m}^3/\text{日}$ の工業用水を供給する。)

発電

(横川ダムの建設に伴い、新設される横川発電所において、最大出力 $6,300\text{kW}$ の発電を行う。)

2) ダム諸元

○ダム形式：重力式コンクリートダム

○ダム高：72.5m

○堤体積：約 27万 m^3

○総貯水容量：2,460 万 m^3

2. 事業の経緯

- | | |
|---------------|-------------------|
| ○昭和 62 年度 | 実施計画調査着手 |
| ○平成 2 年度 | 建設事業着手 |
| ○平成 3 年 3 月 | 基本計画告示 |
| ○平成 3 年 12 月 | 補償基準妥結 |
| ○平成 13 年 11 月 | 付替道路の主要地方道川西小国線供用 |
| ○平成 15 年 3 月 | 横川ダム本体建設第 1 期工事発注 |

3. 平成 16 年度事業の内容

ダム本体工事を推進し、堤体コンクリート打設に着手するとともに、放流設備関係の製作据付を実施します。



基礎掘削の概成した横川ダムサイト
(右岸から左岸を望む：平成 15 年 12 月撮影)

穏やかな流れへのプロジェクト ～ 阿賀川下流狭窄部改修を推進～ 阿賀野川水系阿賀川（福島県河沼郡会津坂下町）

1．事業の概要

1) 目的

阿賀川下流の狭窄部は、川幅が狭く流下能力が少ないため、古くから会津盆地の水害の原因となっており、昭和57年9月の戦後最大規模の洪水では、沿川に大きな被害をもたらしました。

そのため、昭和58年から阿賀川下流狭窄部改修事業に着手し、平成10年度に泡の巻地区改修を完成し、引き続き津尻地区の河道掘削に着手しています。

2) 全体計画

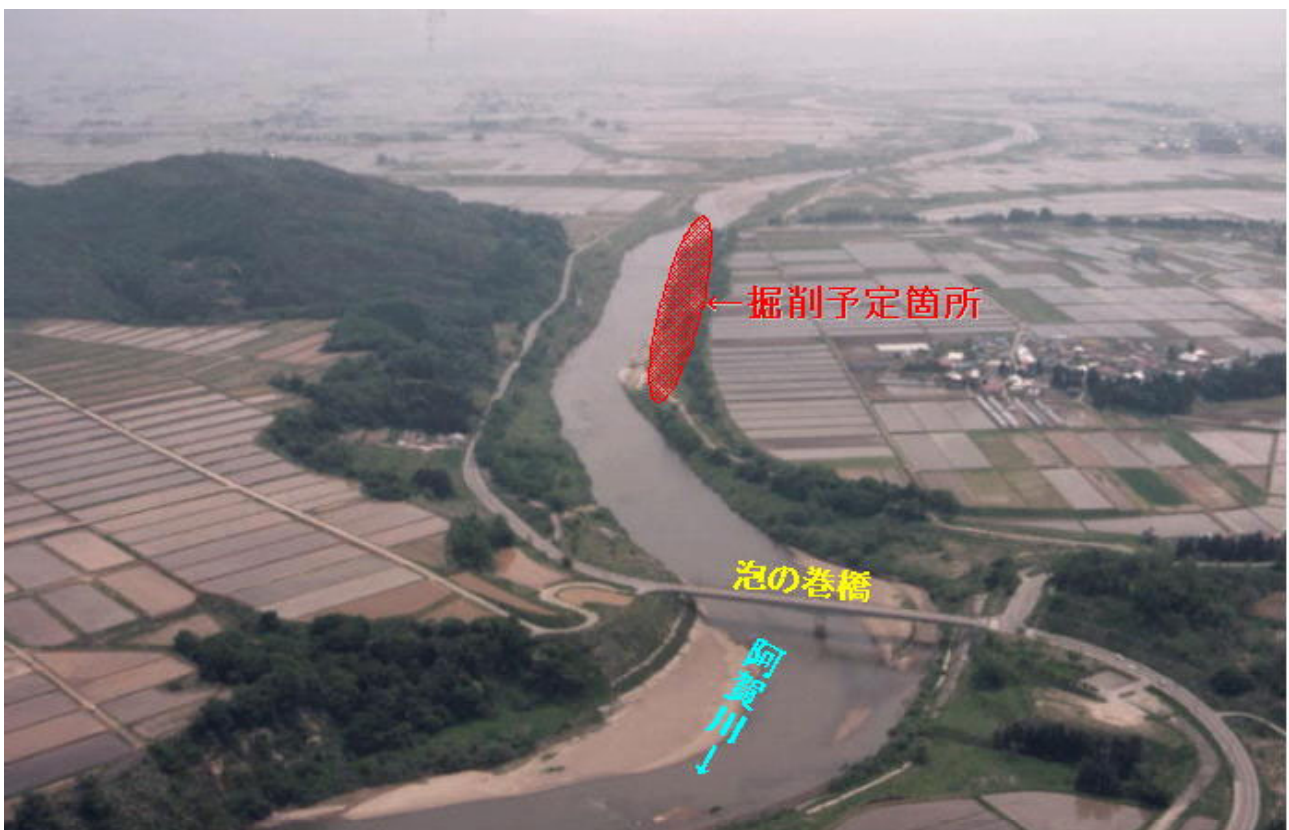
河道掘削、護岸 等

2．事業の経緯

平成10年度に泡の巻地区改修事業を完成し、引き続き平成11年度より津尻地区の改修に着手しています。

3．平成16年度の実施内容

平成16年度は、会津坂下町津尻地先において河道掘削を実施し、早期完成にむけて事業を推進します。



どどがわひもん
百々川樋門改築に着手
～老朽化施設の解消及び治水安全度の向上～
信濃川水系千曲川（長野県須坂市）

1．事業の概要

1) 目的

千曲川と支川八木沢川の合流点に設置されている百々川樋門は、昭和9年の設置以降、約70年が経過し、樋門本体のクラックの発生や鉄筋の露出等、老朽化が著しく進行しています。また、長野県が実施中の八木沢川改修の計画流量に対して流下能力不足となっており、こうしたことから、老朽化施設の解消と流下能力の向上を図ることを目的として、百々川樋門の改築に着手します。

2) 全体計画

樋門改築、堤外水路 等

2．事業の経緯

平成16年度より「特定構造物改築事業」に採択され、改築事業に着手します。

3．平成16年度の実施内容

平成16年度は、樋門本体の詳細設計及び用地取得に着手します。



老朽化が進んでいる百々川樋門

観光振興に資する砂防事業の推進

平湯川砂防樹林帯の整備推進

～ 岐阜県吉城郡上宝村 ～

1. 事業の目的

1) 目的

砂防樹林帯は、川の中にある樹木の力により、洪水の時土砂が流れないように、また上流から流れてきた土砂を止めることを目的として計画します。

平湯川も、この良好な自然の木々をそのまま樹林帯として取り込み、現在の自然をできるだけ変えないで、上流の「しのぶ砂防えん堤」と一体となった、自然環境を生かした砂防施設として整備するものです。

現在の堤防では、大洪水の際には土砂が堆積して、下図のように、あふれてしまいます。そこで、現在の堤防の背後に新しく導流堤を建設し、河幅を広げます。

2) 全体計画

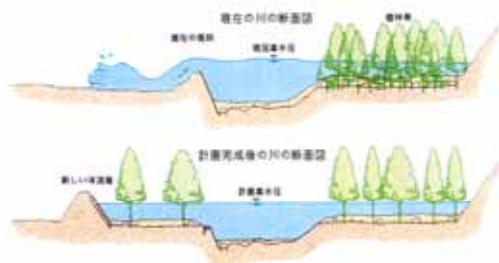
事業計画：流路延長 1 5 0 0 m、床固工、帯工、導流堤

2. 事業の経緯

平成10年度 事業着手

3. 平成16年度の実施内容

・帯工3基、導流堤



計画完成後の断面図



平湯川樹林帯計画箇所



昭和33年7月災害 村上橋流出

福井港海岸 直轄海岸事業に着手

福井港海岸：福井県福井市

福井県坂井郡三国町

1. 事業の概要

福井港海岸では既存護岸前面で侵食が生じており、さらに日本海特有の冬季風浪とも相俟って、護岸前面消波ブロックの飛散による被災、越波による被災及び護岸背後水叩きの陥没被災が続いています。

このため、国民の生命・財産を守り国土保全を図ることを目的として、既存護岸の改良及び離岸堤の整備に着手します。

2. 事業の経緯

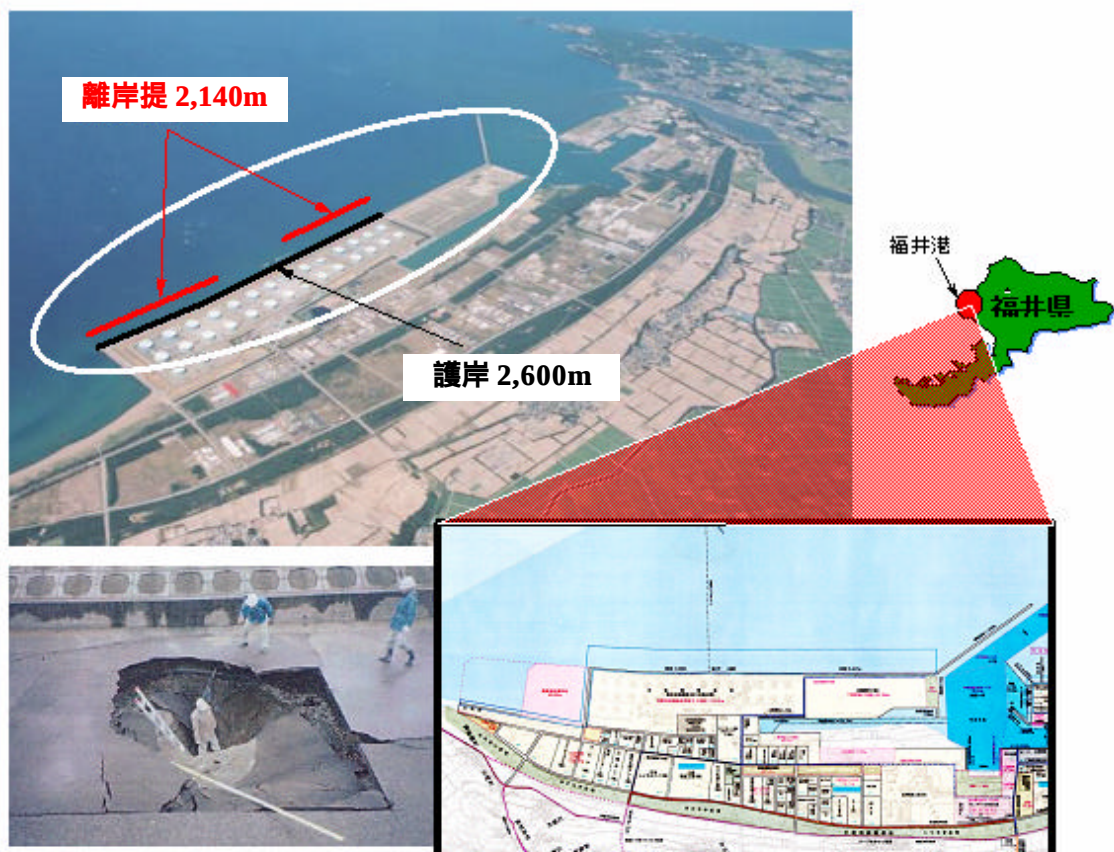
平成16年度 調査・設計着手

平成17年度 工事着手予定

平成29年度 工事完成予定

3. 平成16年度事業の内容

平成16年度は、早期現地着手に向けた調査・設計に着手します。



耐震強化岸壁の整備に着手 敦賀港：福井県敦賀市

1. 事業の概要

大規模地震が発生した場合、敦賀市の市街地からのアクセスが容易であり、避難地として利用できる金ヶ崎緑地に隣接する蓬萊・桜地区の既設岸壁(-5.5m)の耐震性の強化を図り、災害直後における緊急物資の海上輸送を円滑に行えるようにします。

2. 事業の経緯

平成16年度 土質・設計、工事着手予定

平成18年度 工事完成予定

3. 平成16年度事業の内容

土質調査・設計及び工事着手を予定します。



敦賀港航空写真(平成15年10月撮影)

まちづくり交付金について

事業の概要

まちづくり交付金は、地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした地域主導の個性あふれるまちづくりを実施し、都市の再生を効率的に推進することにより、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図ることを目的として、平成16年度に創設された新たな助成措置である。

平成16年度当初予算では、9,080百万円（内訳：新潟県4,375百万円、富山県1,239百万円、石川県3,466百万円）を予算化している。



まちづくり交付金による全国の都市再生の推進

福祉、文化、商業施設等も含めた幅広い支援。(イメージ：福祉のまちづくりや歴史の里づくり)



稚内から石垣まで、全国で活用可能！（対象地域のエリア限定なし）